

「父なる神は一つ」 エペソ4：6

16・8・14

I この御言葉は、4節からの御言葉を完成するもの。

また、2、3節の「御霊の一致を熱心に保ちなさい」の御言葉の頂点。

そうする理由が7つあげられている。3つの部分に分けられる。

最初の3つは、御聖霊が中心（からだは一つ、御霊は一つ、召しのもたらした望みは一つ）、

2番目の3つは御子が中心（主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つ）。

頂点は本日の御言葉。「すべてのものの上にあり、すべてのものをつらぬき、すべてのうちにおられる、すべてのものの父なる神は一つです」。私達の救いに関連するあらゆる事が、一致の為である事が明らかにされている。神聖な三位一体の教理ほど、この点を明確にさせるものはない。三位一体のそれぞれの位格である方が、私達と私達の救いに関与されている。それぞれが、救いの御業に、固有な関わり方をされている（父なる神は、救いの計画者。子なる神、キリストは、救いの実行者、成就者。聖霊なる神は、成就されたその救いを私達の心に伝え届ける方）。

しかもそれぞれが共に働かれる。聖書は、初めからすぐに、私達自身の問題について考えさせる事をしない。むしろ、救いについての真理に心を向けさせる。私たちの問題を解く鍵がここにある。クリスチャン生活の諸問題の原因が、私達が自分自身の事だけを見つめ過ぎる事にある事に気付かせられる。確かな客観的な真理と救いの素晴らしさを見つめる事により、魂の病気や弱さの大部分は癒される。三位一体の神の第三位格の神、御聖霊が、親しく实际的に、私達と私達の救いに関与されている事に目が開かれるなら、私達の状況全体は全く違ったものになる。聖書は、時間が創造される以前に、父、子、聖霊なる神の永遠のご計画において、私達の救いは計画されていた。時が満ちて、それが実行に移された。教会の一員として、私達は聖霊と御子と父なる神との関係の中に置かれていると聖書は教える。この関係が、教会の一致を必然的に生み出す。また、この事が、一致を保つ唯一の方法。

II さて、今度は「すべてのものの父なる神は一つです」を見たい。

教会が「神の教会」である事を忘れないようにしたい。「キリストの教会」ではなく、聖書では「神の教会」と言われている→使徒20：28、Iコリント1：2、10：32、11：22、15：9、IIコリント1：1、ガラテヤ1：13、Iテモテ3：5。

これは、一致の原則を理解するのに役に立つ。聖書は「神は唯一である」と語る。

「私たちは、世の偶像の神は実際にはないものであること、また、唯一の神以外には神は存在しないことを知っています…私たちは、父なる唯一の神がおられるだけで、すべてのものはこの神から出ており、私たちもこの神のために存在しているのです」Iコリント8：4、6。

唯一の神がおられるという根拠からこの方を信じる私達には、本質的な一致がある。聖書は、ただ一人の神がおられると教えるだけではなく、「神は唯一」と教える。三位一体の神の偉大な奥義。神が三人おられるのではない。ただ一つの「三位格にして、神聖な三位一体の神」がおられる。神は一体であり、その神には三つの位格（人格）がある。これは、神が三人おられることではない。三神主義ではなく、一体の方。御霊も御子も御父も私達のうちにいて下さる。この事が、教会の一体性を強め、強調する。三つの方が一つであるように、神を礼拝し、神のものである私達も、一つである必要がある。この三位一体の教理を受け入れ、「平和のきずなで結ばれて御霊の一致を熱心に保」ちたい。

Ⅲ 救いの目標は、私達が、キリストの贖いの恵みを通して父なる神に近づくこと。ヘブル書で学べる。それ故に、主の祈りでも、父なる神に祈るように教えられた。私達が唯一の神を礼拝し、神の臨在を覚えるなら、あらゆる分離、あらゆる分裂は消え去る。神を見つめ神の臨在を覚えるなら、「神の素晴らしさに、言葉もない。皆、神を愛し、ほめたたえよう」と神を賛美する者となる。すべての人たちとそうする。神の臨在を深く覚える事が一致を創造する。同じ神のもとに行くのなら、分裂はなくなる。すべては一つであり、同じ方を礼拝している。「すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父なる神は一つです」の「すべて」の原語は、中性詞ではなく男性詞。それは人格ある者、クリスチャンすべてを指している。御霊により、私達が神に愛されている神の大切な子供と理解するなら、私達の全思考と全生活は一新される。私達は「神のご性質にあずかる者」となった。Ⅱペテロ1：4。神から出る命の源を与えられている。私達は、同じ父を持つ神の家族！神が私達の父であり、神が、いつも、私達の事を本当に愛してやまない大切な子供としてご覧になり、守り、真に必要なものを与え、支えて下さる事実を本気で信じるなら、私達は悩みの中でも大いに励まされる！「すべてのものの上にあり」＝父なる神は、偉大で、すべての事、幸いな一致の創造者。すべてを支配する方。「時がついに満ちて…いっさいのものがキリストにあって…一つに集められる」エペソ1：10。これが父なる神の御計画。人間の罪により分裂、分離させられてきたものを再統一し、再び一つに集められるお方。一致の創造者。「すべてを貫く」＝父なる神は、すべてを貫いて働いておられる、すべてのもののうちにおいて「力ある方」。これは神の摂理を示し、すべてを支配しておられる。父なる神が、教会の命のすみずみまで生き巡っておられ、支えておられる。神の御力こそ、教会を誕生させ、教会を存続させ、最後の完成まで保たれる。神は私達を救い、生かして下さり、見捨てたりは決してなさらない。むしろ私達を保ち、守り、支えて下さる。「私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように」（エペソ1：19）。神の偉大な力、いのちが、私達のうちにある！感謝します。